

# 令和5年度事業計画

公益財団法人 滋賀県緑化推進会

## 1 基本方針

当法人は、滋賀県における緑化事業の推進と緑化思想の高揚を図ることおよび「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づく「緑の募金」を推進することにより、県土の保全、水資源の確保ならびに県民の生活環境の整備および改善に資することを目的とする森林・緑づくりについて普及・啓発を行うとともに、環境に配慮した健全な森林づくりと緑豊かな湖国づくりに関する諸事業を実施する。

また、公益財団法人として、引き続き円滑な組織運営を確保し、透明性の高い効果的かつ効率的な事業運営を行うほか、次期中期経営計画（R6～R11）の策定にも取り組む。

## 2 事業計画

### (1) 森林・緑づくりの普及・啓発

ア 「緑の募金」運動 募金期間 春期 令和5年4月1日～5月31日  
秋期 令和5年9月1日～10月31日

イ 緑化啓発コンクールの実施

ウ 緑化相談の実施

エ 募金活動等の総合的推進

オ 普及啓発活動の総合的推進

カ 「もりづくり交流会（仮称）」への参画

### (2) 森づくりへの支援

ア ふれあいの森づくりへの支援

イ 学校林づくりへの支援

ウ 協働の森づくりへの支援

### (3) 身近な緑づくりへの支援

ア 生活環境の緑づくりへの支援

イ 緑のまちづくりへの支援

ウ 淡海の巨木・名木次世代継承事業

エ 桜の並木・森の造成

オ 学校、福祉施設等の緑化

カ 緑化協力金による緑化促進事業

キ 学校環境緑化モデル事業

### (4) 森林・環境活動への支援

ア 緑の少年団等の育成と活動強化

イ 森林・緑化活動団体等の活動支援

ウ 企業等の緑化推進に関する研修の実施

### (5) 国際緑化協力の推進

### (6) 情報公開の推進および効果的な事業展開に向けた検討

# 収 支 予 算 書

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,620	2,920	△	300
事業収益	40	40		-
受取会費	810	810		-
受取補助金等	4,550	3,450		1,100
受取寄付金	63,400	64,700	△	1,300
雑収益	2	2		-
経常収益計	71,422	71,922	△	500
(2) 経常費用				
事業費	70,212	70,707	△	495
管理費	1,210	1,215	△	5
経常費用計	71,422	71,922	△	500
(うち人件費)	14,900	14,730		170
評価損益等調整前当期経常増減額	-	-		-
評価損益等計	-	-		-
当期経常増減額	-	-		-
当期一般正味財産増減額	-	-		-
一般正味財産期首残高	5,022	7,904	△	2,882
一般正味財産期末残高	5,022	7,904	△	2,882
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取寄付金	62,400	63,400	△	1,000
一般正味財産への振替額	△ 63,400	△ 64,700		1,300
当期指定正味財産増減額	△ 1,000	△ 1,300		300
指定正味財産期首残高	574,924	578,947	△	4,023
指定正味財産期末残高	573,924	577,647	△	3,723
<b>III 正味財産期末残高</b>	578,946	585,551	△	6,605

## 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,310	—	1,310	—	2,620
事業収益	40	—	—	—	40
受取会費	810	—	—	—	810
受取補助金等	4,550	—	—	—	4,550
受取寄付金	63,400	—	—	—	63,400
雑収益	2	—	—	—	2
経常収益計	70,112	—	1,310	—	71,422
(2) 経常費用					
事業費	70,212	—	—	—	70,212
管理費	—	—	1,210	—	1,210
経常費用計	70,212	—	1,210	—	71,422
(うち人件費)	14,145	—	755	—	14,900
評価損益等調整前当期経常増減額	—	—	—	—	—
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	—	—	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 100	—	100	—	—
一般正味財産期首残高	2,115	—	2,907	—	5,022
一般正味財産期末残高	2,015	—	3,007	—	5,022
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取寄付金	62,400	—	—	—	62,400
一般正味財産への振替額	△ 63,400	—	—	—	△ 63,400
当期指定正味財産増減額	△ 1,000	—	—	—	△ 1,000
指定正味財産期首残高	574,924	—	—	—	574,924
指定正味財産期末残高	573,924	—	—	—	573,924
<b>III 正味財産期末残高</b>	575,939	—	3,007	—	578,946

## 資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 5 年 4 月 1 日  
至 令和 6 年 3 月 31 日

### 1 資金調達の見込みについて

なし

### 2 設備投資の見込みについて

なし

# 令和4年度事業報告

公益財団法人 滋賀県緑化推進会

## 1 基本方針

当法人は、滋賀県における緑化事業の推進と緑化思想の高揚を図ることおよび「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づく「緑の募金」を推進することにより、県土の保全、水資源の確保ならびに県民の生活環境の整備および改善に資することを目的とした森林・緑づくりについて普及・啓発を行うとともに、環境に配慮した健全な森林づくりと緑豊かな湖国づくりに関する諸事業を実施した。

## 2 事業実績

### (1) 森林・緑づくりの普及・啓発

#### ア 「緑の募金」運動

市町緑化推進委員会、緑化推進会各地区担当、各種団体、企業などの協力により、新型コロナウイルスの感染防止対策を図りながら、家庭募金、職場募金、企業募金、学校募金および篤志募金などの募金活動を進め、企業および職場等への募金箱の設置、企業に募金協力を呼び掛けるダイレクトメール等の送付等による募金活動を展開した。

なお、春・秋の街頭啓発活動については縮小して実施した。

期 間 春期 令和4年4月1日から5月31日まで

秋期 令和4年9月1日から10月31日まで

実績額 42,261,902円

#### イ 緑化啓発コンクールの実施

第22回「森林・緑と水といのち」写真コンクールおよび「緑の募金・緑化推進」標語コンクールを実施した。また、全国育樹活動コンクール、全日本学校関係緑化コンクール、国土緑化運動・育樹運動ポスター原画募集等への参加を促した。

#### ウ 緑化相談の実施

イベント主催者や地域住民からの要請に応じ、随時、花木、緑化樹木等に関する相談に応じた。

#### エ 募金活動等の総合的推進

市町緑化推進委員会が行う募金活動およびこれに基づく森づくりや緑化の推進に関する事業に係る運営費、事務費等に対して助成し、募金活動、森づくりや緑化の推進に関する事業の総合的な推進を図った。

#### オ 普及啓発活動の実施

機関紙「湖国『緑の募金』」（3,200部）および「びわ湖緑の少年団」（6,600部）を発行し、緑の募金と緑化の啓発を行った。

### (2) 第72回全国植樹祭への取組

#### ア 開催による緑化意識の向上

令和4年6月5日に開催された「第72回全国植樹祭しが2022」に参画し、緑の募金等の広報活動等を行った。また、「秋のポスト全国植樹祭」において、緑の少年団の育成・強化のため緑の少年団活動交流会（子ども水源の森サミット）を開催し、参加した県内の緑の少年団10団体に対して緑化意識の向上を図った。

イ 実行委員会への参画

第72回全国植樹祭実行委員会に参画し、植樹行事への助言を行うとともに、苗木のホームステイなどに支援した。

ウ 企業等協賛への取組

第72回全国植樹祭実行委員会との協定に基づき企業等から提供される協賛金を受入れ同実行委員会へ納入した。

(3) 森づくり活動への支援

琵琶湖の水源として重要な役割を果たしている森林を健全に育成し、水源かん養機能および水質保全機能を高めるための森づくり事業、森林・林業への理解と参画意識を高めるための普及・啓発などを主とした森づくり活動を支援した。

ア ふれあいの森づくりへの支援	栗東市ほか4市	6箇所	6.95ha
イ 学校林づくりへの支援	大津市ほか2市	6箇所	7.68ha
ウ 協働の森づくりへの支援	2団体	2箇所	63.86ha

(4) 身近な緑づくりへの支援

ア 生活環境の緑づくりへの支援

生活環境をより一層潤いのあるものにするため、自治会、学校等に緑化苗木 6,287本を配布し、県内 392箇所の公園、学校、街路等において地域住民の協力により植栽を行い、地域の生活環境の緑化を図った。

イ 緑のまちづくりへの支援

公共施設等において緑化啓発および記念行事等として行われる植樹で、緑化の啓発効果が著しく期待できるものに対して、緑化苗木を5箇所に交付した。

ウ 淡海の巨木・名木次世代継承事業

人々の心の支えやまちの顔あるいは地域の誇りとなっている樹木に必要な手当をすることにより、次世代に継承していくことを目的として、県内5箇所の巨木・名木の樹勢回復事業に助成した。

エ 桜の並木・森の造成

県民の安らぎと憩いの場をつくり、国の花「さくら」に多くの県民が一層親しめるよう県内の企業2社から、ソメイヨシノ、神代アケボノおよびヤマザクラの苗木 600本の寄贈を受けて、県内11市町16箇所の公園等に配布し、環境緑化を図った。

オ 学校、福祉施設等の緑化

県内の企業からの苗木 141本の寄贈を受けて、県内の学校や福祉施設等に配布し、環境緑化を図った。また、県内の企業から有料レジ袋収益金の寄付を受けて、県内5箇所の保育園、小学校および中学校にシンボルツリーとして緑化樹木（県の木：モミジ）を配布するとともに、緑化樹木周辺にハナモモ、ハナミズキ、ツツジ等を植栽し、保育園には木育玩具も寄贈した。

カ 緑化協力金による緑化促進事業

公益社団法人ゴルフ緑化促進会からの緑化協力金により神代アケボノ11本を陶芸の森に植樹した。またローズゴルフクラブにおいてマツクイムシ防除のためマツ8本に樹幹注入を行った。

(5) 森林・環境活動への支援

ア 緑の少年団等の育成と活動強化

(ア) 緑の少年団の育成支援

緑の少年団を育成するため、52団体に対して活動装備の整備および活動費の助成を行った。

(イ) 緑の少年団指導者研修の実施

緑の少年団の指導者に対して、効果的な活動を推進するよう研修会を開催した。

(ウ) 緑の少年団活動交流会の開催

緑の少年団の育成・交流を図るため、県内4団体が参加し自然観察や活動発表を行う交流会を開催した。

(エ) 緑の幼年団育成強化事業

就学前の子どもやその保護者を対象に自然体験活動を行っているNPO団体に対して、活動費の助成を行った。

イ 森林・緑化活動団体の活動支援

地域において緑化等の活動を行っている9団体に対して、活動費の助成を行った。

ウ 団体、企業等の緑化推進に関する研修の実施

事業所等における緑化樹木の適切な維持管理方法について、樹木医の協力を得て団体、企業等に対して研修会を実施した。

(6) 国際緑化協力の推進

緑を通じた国際交流として、県内在住外国人と緑の少年団との交流会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、取りやめた。

(7) 情報公開の一層の推進および効果的な事業展開に向けた検討

当法人の業務運営の透明化および適正化を図るために、ホームページやフェイスブックにおいて新着情報を随時掲載した。また、ラジオ等様々な広報媒体を積極的に活用して情報公開の推進を図った。

効果的な事業展開に向けて、近畿地区緑化推進協議会に参画するとともに、全国緑化推進委員会連絡協議会等で情報収集を行い、今後に向けた検討を行った。

# 正味財産増減計算書

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,964,466	2,924,949	39,517
事業収益	40,000	40,000	—
受取会費	790,000	810,000	△ 20,000
受取補助金等	3,489,000	6,024,000	△ 2,535,000
受取寄付金	49,463,131	58,602,519	△ 9,139,388
雑収益	250,720	360,722	△ 110,002
経常収益計	56,997,317	68,762,190	△ 11,764,873
(2) 経常費用			
事業費用	55,622,665	64,350,688	△ 8,728,023
管理費用	1,256,408	1,466,714	△ 210,306
経常費用計	56,879,073	65,817,402	△ 8,938,329
(うち人件費)	14,524,476	14,569,918	△ 45,442
評価損益等調整前当期経常増減額	118,244	2,944,788	△ 2,826,544
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	118,244	2,944,788	△ 2,826,544
他会計振替額	3,000,000	—	3,000,000
当期一般正味財産増減額	△ 2,881,756	2,944,788	△ 5,826,544
一般正味財産期首残高	7,910,140	4,965,352	2,944,788
一般正味財産期末残高	5,028,384	7,910,140	△ 2,881,756
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金	45,372,242	81,643,604	△ 36,271,362
一般正味財産への振替額	△ 49,463,131	△ 55,602,519	6,139,388
当期指定正味財産増減額	△ 4,090,889	26,041,085	△ 30,131,974
指定正味財産期首残高	579,320,594	553,279,509	26,041,085
指定正味財産期末残高	575,229,705	579,320,594	△ 4,090,889
<b>III 正味財産期末残高</b>	580,258,089	587,230,734	△ 6,972,645



## 正味財産増減計算書内訳表

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,482,466	-	1,482,000	-	2,964,466
事業収益	40,000	-	-	-	40,000
受取会費	790,000	-	-	-	790,000
受取補助金等	3,489,000	-	-	-	3,489,000
受取寄付金	49,463,131	-	-	-	49,463,131
雑収益	250,668	-	52	-	250,720
経常収益計	55,515,265	-	1,482,052	-	56,997,317
(2) 経常費用					
事業費用	55,622,665	-	-	-	55,622,665
管理費用	-	-	1,256,408	-	1,256,408
経常費用計	55,622,665	-	1,256,408	-	56,879,073
(うち人件費)	13,797,476	-	727,000	-	14,524,476
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 107,400	-	225,644	-	118,244
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	△ 107,400	-	225,644	-	118,244
他会計振替額	-	-	3,000,000	-	3,000,000
当期一般正味財産増減額	△ 107,400	-	△2,774,356	-	△ 2,881,756
一般正味財産期首残高	2,224,962	-	5,685,178	-	7,910,140
一般正味財産期末残高	2,117,562	-	2,910,822	-	5,028,384
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取寄付金	45,372,242	-	-	-	45,372,242
一般正味財産への振替額	△49,463,131	-	-	-	△ 49,463,131
当期指定正味財産増減額	△ 4,090,889	-	-	-	△ 4,090,889
指定正味財産期首残高	579,320,594	-	-	-	579,320,594
指定正味財産期末残高	575,229,705	-	-	-	575,229,705
<b>III 正味財産期末残高</b>	577,347,267	-	2,910,822	-	580,258,089

# 貸 借 対 照 表

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	9,261,291	13,181,255	△ 3,919,964
流動資産合計	9,261,291	13,181,255	△ 3,919,964
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	60,000,000	60,000,000	-
投資有価証券	449,951,366	449,810,312	141,054
普通預金	21,648,634	21,789,688	△ 141,054
基本財産合計	531,600,000	531,600,000	-
(2)特定資産			
退職給与積立預金	3,872,719	3,033,629	839,090
緑の募金積立預金	42,551,081	46,339,080	△ 3,787,999
平和の緑づくり積立預金	1,078,624	1,381,514	△ 302,890
特定資産合計	47,502,424	50,754,223	△ 3,251,799
固定資産合計	579,102,424	582,354,223	△ 3,251,799
資産合計	588,363,715	595,535,478	△ 7,171,763
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	3,589,347	4,628,499	△ 1,039,152
前受金	490,000	492,000	△ 2,000
預り金	153,560	150,616	2,944
流動負債合計	4,232,907	5,271,115	△ 1,038,208
2 固定負債			
退職給与引当金	3,872,719	3,033,629	839,090
固定負債合計	3,872,719	3,033,629	839,090
負債合計	8,105,626	8,304,744	△ 199,118
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
出捐金	410,000,000	410,000,000	-
寄付金	165,229,705	169,320,594	△ 4,090,889
指定正味財産合計	575,229,705	579,320,594	△ 4,090,889
(うち基本財産への充当額)	(531,600,000)	(531,600,000)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(43,629,705)	(47,720,594)	(△ 4,090,889)
2 一般正味財産	5,028,384	7,910,140	△ 2,881,756
正味財産合計	580,258,089	587,230,734	△ 6,972,645
負債及び正味財産合計	588,363,715	595,535,478	△ 7,171,763